

一般質問

■ 妊娠期からの伴走型支援、経済支援について
七尾市独自の新たな支援を！

質 少子化は国においても七尾市においても喫緊の課題である。政府は、今年度第2次補正予算で公明党の強い主張を受け、出産・子育て応援交付金事業を盛り込んだが、七尾市の実情に沿った形でのよう
に実施していくのか次の3点について伺う。
① 出産・子育て応援交付金事業の七尾市の受給者は何
名か。また、いつ頃実施する予定か。
② 継続的な伴走型支援の手厚い拡充のために、人員増
についてどのように考えているか。
③ 交付金事業について、七尾市独自の新たな支援事業
を実施していく考えはあるか。

答 ① 対象者は下表のとおり。国の
補正予算が成立したので、今後、
追加予算をお願いし、速やかに取り組
みたい。
② 健康推進課に設置をしている子育て
世代包括支援センターで保健師が妊産
婦に寄り添った相談支援を行っており、
これは国が示す伴走型相談支援に当た
ると捉えている。さらに事業の拡大、拡
充等が必要であれば検討したい。
③ 現在、県内各市町の母子保健事業で
七尾市が取り組んでいない事業を精査
し、新たな事業や拡充の検討をしてい
るところである。

出産・子育て応援交付金の対象となる方
11月末現在

出産届提出者	120人
妊娠届提出者	146人

※今後の妊娠届提出者の見込み・・・18人/月



江曾 ゆかり 議員
(無会派)



子育て (イメージ)

一般質問



木下 美也子 議員
(無会派)



■ 部活動地域移行に関する諸課題について
改めて現在の状況を聞く！

質 中学校の部活動の地域移行は、子供たちの将来
地域の活力やスポーツ振興にも大きな影響を与
えるものであり、改めて、地域における指導者の状況
教員の意向など、現時点での状況を聞く。
また、保護者に対し部活動に関する説明を行うとさ
れていたが、保護者の反応、出された意見など、地
域スポーツクラブ等に活動拠点が移った場合の施設使
用料についても聞く。

答 11月24日に第1回の部活動のあり方検討委員会
を開催した。令和5年度は、今年度と変わらな
い体制で、既存の部活動で、既に外部コーチや部活動
指導員で活動している部活動はそのままの形で地域移
行を進めたい。教職員意向調査は今後実施する予定
である。

小・中学生の保護者には、各学校の保護者宛てメー
ルで、説明動画を11月8日からネット上で視聴できる
旨案内しており、分かりやすい説明動画であったとい
うことで理解をいただいていると聞いている。
施設使用料は、今後、検討を進めていく中で、その
受皿となる団体、使用する施設によって利用料金には
らつきが生じることが想定されるので、しっかりと見
直しを行っていく。

一般質問

■ 中心市街地活性化への取り組み成果と
今後の予算執行について

駅前のにぎわい創出について伺う！

質 観光施設をにぎわい創出に生かす方策について、
茶谷市政として前の市政と違う活用の仕方、特
色はどこにあるのか。例えば中心市街地からすぐに足
を延ばせる食祭市場であったり、それから山の寺院
群の活用の仕方を聞く。

特に、七尾駅前にぎわい館の運営については、今後
の新たな事業化のめどや指定管理料に対して、今の経
営体制は十分に機能しているのかといった点について
我々議員だけでなく、市民が納得できるように説明を
求める。

答 パトリアでにぎわい創出を行っている管理運営
会社である創生なおは、新たに4月から様々
な経歴を持つ3人のスタッフを迎えて、4月29日に
就任した代表取締役の下で会社運営をスタートしてい
る。今後、パトリアから七尾港までのまちなかのにぎ
わい創出に向けて、経験豊富なスタッフの柔軟な発想
力、行動力や関係団体との連携も期待している。

七尾市は他地域に比べても、歴史的、文化的に非常
にポテンシャルの高い地域だが、それを今まで生かし
切れてこなかった。それをしっかりと生かして、市民
のみなさんなど多くの方の協力をもってこの七尾市の
発展につなげていきたい。



西川 英伸 議員
(新国会)



七尾駅前にぎわい館